

ふた復通信

～ふたばの日常、春～

令和3年3月



令和3年3月発行
福島県ふたば復興事務所

- ・巻頭記事「3.11追悼イベント」
「関係人口拡大に向けた施策提言集が完成！」
- ・双葉郡トピックス（1月～3月）
「小正月の伝統行事 鳥小屋（とりごや）」
「夜ノ森駅の桜並木アート」 他
- ・お知らせ ・双葉郡の町村内居住率

今年は暖かい日が続き、例年より桜の開花が早いそうです。

双葉郡内にも桜の名所が数多くありますが、今回は桜の開花の便りとともに、

「ふた復通信」も少しだけ早く、皆様にお届けします。



【巻頭記事1】東日本大震災・原子力災害 3.11 追悼イベントについて

東日本大震災から10年目を迎えた3月、双葉郡においても各地で追悼イベントが行われました。今回は、その中からいくつか、その様子をお伝えします。

まずは、双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館で行われた「3.11 メモリアルイベント」から。

【3月6日（土）メインイベント】

この日は、先の震災・原発事故の記録と記憶をどのように後世に引き継いでいくかといったテーマで、福島大学の小沢喜仁特任教授の基調講演から始まり、双葉郡内で震災記録の保存、アーカイブ施設整備、語り部活動などに取り組む実践者・報道機関の方々によるトークセッションが行われました。



それぞれの立場から唆に富んだ話を伺うことができましたが、「科学者が客観的に物事を捉えようとする『理性的理解』と被災者が主観で物事を捉える『感性的理解』にはどうしてもギャップが生じる、だからこそ丁寧な『リスク・コミュニケーション』が大切であるということ」、「先の震災・原発事故は『終了していない＝評価が固まっていない』、だからこそアーカイブ整備の難しさがある」といった話が印象に残りました。

また、この日はふたば未来学園高等学校の生徒による演劇も披露されました。子供の頃の被災体験とその後の避難生活など、この10年間どのように向き合ってきたかについて、それぞれが観客に語りかけるといった内容でしたが、それぞれが、演劇を通して、自分の気持ちを自分の言葉で前向きに表現しようとする姿勢に感銘を受けました。（この日の基調講演、トークセッション及び演劇の様子は、東日本大震災・原子力災害伝承館のYouTubeで見ることができます。）

【3月11日（木）追悼イベント】

この日は双葉町産業交流センターにおいて、双葉町主催の東日本大震災追悼式が行われました。

隣の伝承館にも、平日にも関わらず多くの人が訪れ、午後2時46分の時報に合わせて黙祷を行いました。この10年間の経験は人それぞれ違いますが、この日、この時間は他の誰かと時間を共有して、哀悼の意を捧げたい、そんな思いが訪れた皆さんの中にあっただような気がします。





夕方からは、浪江町出身のピアニスト添田哲平氏、星美南子氏によるピアノ演奏のほか、メッセージが書かれた約3000本のキャンドルの灯りが幻想的な「キャンドルナイト」が広場を飾るとともに、復興祈念公園では追悼花火が打ち上げられました。



先の震災による犠牲者の鎮魂のための花火ではありますが、その鮮やかな青い火花を眺めていると、近年、台風、コロナ、余震と様々なことで疲れ気味だった我々の心も癒やされるようでした。（この花火の様子は、ふたば復興事務所のフェイスブック上で短い動画をご覧ください。）

一方、同じ3月11日、J ヴィレッジでは、「SONG OF THE EARTH 311」が行われました。被災地で活動続けてきたアーティストたちの熱いライブのほか、福島を始め各地の美味しいもの、ショップやワークショップが集結し、会場は和やかな雰囲気になっていました。



午後の黙祷後、ピッチ上では「夢の大凧揚げ」が行われました。ここで使われた大凧は、広野町特産のバナナの茎を原料とした特別な和紙に、県内各地の子供たちの夢や希望が描かれており、快晴の大空にたなびく姿は壮観でした。

夜には伝承館と同様に追悼花火の打ち上げと「キャンドルナイト」が行われました。福島にはまだまだ大変な思いをされている方が多くありますが、キャンドルカップに描かれるメッセージは徐々に前向きなものに変わってきている模様です。



【巻頭記事2】双葉地域における関係人口拡大に向けた施策提言集 が完成しました！

ふたば復興事務所においては、令和元年度から、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライトと共同で、双葉地域の復興に欠かせない交流・人口の拡大に向けた施策案について、検討を重ねてきました。この度、その検討結果をまとめた「施策提言集」が完成しました！

行政関係者のみならず、まちづくりに取り組む団体の方々などにとっても、ヒントとなるような内容となっていますので、是非、当事務所のホームページにアクセスしご覧ください！

（施策案その1）みんなで創ろう！地域の宝ブラッシュアップ事業

双葉地域の公的施設は震災後の利用者減少や人手不足で十分に活かされていないのでは？

→ みんなで公的施設を魅力のある「憩いの場」にしてみよう！

（施策案その2）「コト返礼」によるふるさと納税者レベルアップ事業

双葉郡の町村では「モノ返礼」がメインで、「コト（体験）返礼」が見当たらない。

→ 「コト返礼」で被災地を後押ししたい全国各地の寄付者と繋がろう！

（施策案その3）ふたばの感動合宿支援事業

双葉郡にはスポーツ・研修施設が数多くあり、震災前は「合宿の里」と呼ばれていた。

→ 「合宿の里」に復興学という新たな強みを加えて誘致活動をしてみよう！

（施策案その4）ふたばの「キラ人」オンリーワン魅力発信事業

双葉郡への移住促進策を考える際、風光明媚な全国の有名観光地には勝てないのでは？

→ 復興に向けて様々な活動に取り組む「おもしろ」人材を地域資源としてPRしよう！

（施策案その5）沸き上がり地域愛！つながるアイデア甲子園事業

全国的に社会貢献意識の高い若者は多くっており、被災地への関心も高い。

→ そうした若者たちと地域住民が、復興を始め地域課題を共に考える機会を創ろう！

【小正月の伝統行事「鳥小屋（とりごや）」（1月12日掲載 @檜葉町）】



「鳥小屋」とは、竹やワラで作った小屋に正月飾りなどを納めて盛大に燃やす伝統行事で、浜通り南部で行われています。害鳥から田畑を守る「鳥追い」と、正月飾りを焚き上げて新年の無病息災を願う「どんと焼き」が一緒になった行事とされています。

原発事故による全町避難で鳥小屋行事を一時休止していた檜葉町では、2019年から一部地域で伝統が復活し、北田地区の田んぼでも立派な鳥小屋が作られていました。

夜になって、近くの住民の皆さんが集まり、鳥小屋に火が入れられると、子ども達は竿につるした網で餅を焼いたりして小正月の伝統行事を楽しんでいるようでした。鳥小屋の炎には無病息災の願いが込められているようですが、時折、竹が爆ぜると盛大に火の粉が舞い上がり、コロナも追い払ってもらえそうな気がしました。(M)



【綺麗なバナナミルク（1月20日掲載 @広野町・いわき市）】



2019年のデビュー以来、大注目の広野町産バナナ「綺麗」を使ったドリンクがあると聞き、いわき駅前のLATOV内にあるドリンクスタンド「Straw Kitchen Cell（ストローキッチンセル）」さんにお邪魔しました。目の前で丁寧にミキサーにかけてくれるバナナミルクは、滑らかなのどごしと爽やかな甘さ、トッピングのダークチョコレートの苦みもアクセントとなり、とても美味しかったです！皆さんも、ぜひ「綺麗」を味わってみてください！

（2021年の3月には、広野町のトロピカルフルーツミュージアムにも、待望のカフェ「フルーツパーラーニッ沼 ひろぼーの休憩所」がオープンし、町産バナナ「綺麗」を様々なアレンジしたお菓子やドリンク、軽食が楽しめるようになりました。）(M)

【辛口登場「萌（きざし）DRY」。とてもおいしいです！（2月2日掲載 @富岡町）】

1月29日に富岡町産米使用のスパークリング日本酒「萌（きざし）」の甘くないバージョン、その名も「萌DRY」が発売されました。「萌」と「萌DRY」がセットになった見た目も素敵な特製パッケージ版があると知り、早速購入してみました。

「萌」は香り・味わいともにフルーティーで、女性にも飲みやすいお酒でしたが、「萌DRY」は甘さがカットされ、やや辛口になった分、のどごし爽快なおいしいお酒でした！

また、どちらもアルコール控えめで飲みやすく、お酒がちょっと苦手な方でもおいしく味わえますし、ラベルも素敵なので、お酒を囲む場が明るくなるような商品だと感じました。

販売場所は、とみおかプラスのTwitterやFacebookに記載されておりますので、ぜひチェックしてみてください！（S）

●一般社団法人とみおかプラス HP：<https://tomioka-plus.or.jp>



【ぐるりんレポ「川内村の狛犬に会いに行く」(2月15日掲載 @川内村)】

突然ですが、「双葉郡ぐるりんガイド」！見ていただけましたか？双葉郡の情報満載ですよ。

でも、双葉郡には、まだまだガイドでも紹介しきれていない魅力的な場所があるんです！

そこで、これから随時、双葉郡の穴場・面白スポットを発掘・紹介していきたいと思えます。

今回は、筆者が最近密かに気になっている狛犬です。狛犬といえば神社の境内に阿吽の一对で鎮座しているアレですが、よくよく見ると様々な姿形・表情をしています。県内では、白河(県南)地方に様々な狛犬がいて、ちょっとした観光資源になっているようです。

それなら、きっと双葉郡の神社にも“ワン”ダブルな狛犬(注：霊獣であり犬ではありません)がいるはず！ということで、今回は川内村の「高田島諏訪神社」に行ってきました。



川内村には3つの諏訪神社があるとのことですが、この神社は川内村北西部の高田島地区にあります。県道112号線を北上すると、左手の里山の下に木製の鳥居が見えてきます。急な石段を昇ると、まだ雪が残る境内の奥に立派な社殿が見えてきました。参拝し、振り返ると、木立の間からの見晴らしも良く、新緑や紅葉など、また別な季節にも訪れてみたいと思わせてくれる神社でした。

出迎えてくれた狛犬たち。向かって右側の阿(あ)像は、なにやら青玉(?)を持っています。左側の吽(うん)像は(口が開いているようにも見えますが…)、子供でしょうか(?)小さな狛犬を従えています。両方とも目力があり、「神様をお守りするぞ！」の気合い十分ですが、なんだか愛らしい表情をしていました。



川内村には、平伏沼のモリアオガエル、天山文庫の紅葉などの定番スポットを始め、まだまだたくさん見所があります。皆さんも「ぐるりんガイド」を片手に“ぐるりん”してみてもはいかがでしょうか。

(U)

【日曜のほっこりティータイム(2月17日掲載 @富岡町)】

当事務所がある富岡町は、飲食店がまだそれほど多くありません。住民の皆さんがお休みの日に気軽に立ち寄れるような場所を作ろうと、さくらモールとみおかのほど近くの住宅街に、町内のNPO法人「富岡町3.11を語る会」により2020年10月にオープンしたのが、日曜限定カフェ【cha茶cha】さんです。

コーヒーなどのドリンクや焼き菓子といったメニューの中から、ふたば未来学園高校の生徒が開発した「さくらタピオカ」を注文したところ、運ばれてきたのは、何とも見事な立体ラテアート！ふわふわに泡立てられたラテのクマさんが、カップの縁から身を乗り出しています。あまりのかわいらしさに飲むのがもったいなくなるほどでしたが、桜の香りの甘いミルクと腹持ちの良さそうなタピオカをしっかりと味わいました。



オープン以来、特にお昼前の時間帯は、近所の住民の皆さんの憩いの場になっているとのこと。スタッフの皆さんも気さくな雰囲気、とてもくつろげる空間でした。

ちなみに、ラテアートは毎週進化を続けているのだとか。

日曜の昼のひととき、皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。(M)

【Jヴィレッジにて双葉郡フォトコンテスト上位入賞作品展示中！（3月3日掲載 @Jヴィレッジ）】

「あなたとつながる、ふたば。」双葉郡フォトコンテストの上位入賞作品をJヴィレッジにて展示中です！

震災以降に撮影されたリアルタイムふたば（#今）部門、震災以前に撮影されたふたばタイムカプセル（#昔）部門の応募作品の中から選ばれた素晴らしい写真が双葉郡の魅力を存分に伝えてくれています。

展示期間は5月9日までを予定していますので、「双葉郡ぐるりんガイド」を片手に、是非Jヴィレッジにお立ち寄りください！（S）



【「東日本大震災メモリアルマッチ福島ダービー」に行ってきました（3月5日掲載 @Jヴィレッジ）】

2月28日にJヴィレッジスタジアムで行われた「東日本大震災メモリアルマッチ #福島ダービー」に行ってきましたので、当日の様子を紹介します。

当日は物販ブースのテントが飛ばされそうになるほどの強風でしたが、湯本高校吹奏楽部の迫力ある演奏やスタジアムグルメが多数出展するなど、試合開始前から両チームのサポーターで賑わっていました。

試合では、いわきFC・福島ユナイテッドFCの両チームとも闘志溢れるプレーの連続で、終盤のチャンスをものにした福島ユナイテッドFCが勝利しました。多くの観客動員がありましたが、スタンドでは新型コロナウイルス感染対策のため、観戦ルールに則った応援スタイル（拍手・手拍子）が採用されました。



観客は試合の緊迫した様子を、静かに楽しんでいるようでした。声援が控えられている分、ピッチ上の選手の声や接触プレー時の衝撃音、ベンチからの指示など、普段はなかなか耳にすることのない「音」を聞いたことが印象的でした。

いわきFCはいわき市とともに双葉郡をホームタウンとしており、今期JFLのホームゲームではJヴィレッジスタジアムで7試合が行われる予定です。いわきFCが念願のJ3昇格を果たし、上のカテゴリーで「福島ダービー」が実現することを心待ちにしています。（S）



【夜ノ森駅に子供たちが作った桜並木のアート作品が展示されています（3月9日掲載 @富岡町）】

夜ノ森駅に新たに設置された桜のモザイクアート作品を見に行ってきました。

この作品は、富岡町立にこにここども園の園児たちがプラスチックなどをリサイクルしたブロックを貼り付けて制作したもので、3月5日にお披露目されました。駅構内と待合室の二箇所に飾られています。

夜の森地区の桜並木の様子が伝わる、とても素敵な作品でした。

子供たちの作品のような満開の桜が見られるまであと少し。今から待ち遠しいです！（S）



【ぐるりんレポ「葛尾村で馬頭観音を探してみる」(3月15日掲載 @葛尾村)】

双葉郡の穴場・面白スポットを発掘・紹介するぐるりんレポ。今回は葛尾村です！

葛尾村は阿武隈山系の山々に囲まれており、高瀬川溪谷などの自然景観や、葛尾大尽屋敷跡などが有名ですが、今回は観光ガイドなどで取り上げられることも少ない「馬頭観音の石碑」を探しに行ってみました。

事前の調べでは、「“馬頭観音前”という名称のバス停がある(あった?)」ぐらいのヒントしか得られませんでした。とりあえず村の中心部から葛尾川沿いを南下する県道253号に入り、かつての村営バス路線とおぼしき細い道を進んで行きました。…途中省略…。ついに、ひっそりと建つ馬頭観音の石碑を見つけることができました！(別なルートもあるようですが、ここは、皆さんも「ポツンと〇〇〇」の捜索隊のような気持ちになって探しに行ってください。ちょっとワクワクします。)



石碑は、T字路の立木の下に、不思議な形をした一番大きな石碑を中心に何体か建っていました。仏像のかたちはしておらず、とても素朴な石碑ですが、その昔、山村の暮らしを支えたであろう牛・馬を家族のように可愛がり、その死を悼んだ村人たちの思いが感じ取れる、そんな場所でした。なお、葛尾村には、ほかにも馬頭観音や庚申塔など様々な石碑があるそうです。

ちなみに今回の葛尾村の旅ですが、ランチは、2016年の避難指示解除とともに村内での営業を再開した「石井食堂」さんで、かの有名な「チャーハン」をいただきました。どのメニューもびっくりするボリュームですが、特に「チャーハン」は、3人前はあろうかと思われ…、筆者も完食した後に達成感を味わえました。もちろんボリュームだけでなく、味も、石井さんご家族のホスピタリティ(おもてなし)も大満足のお店で、またチャレンジ(!?)したくなりました。



ランチの後は、復興交流館「あぜりあ」でお買い物。筆者は葛尾村産のえごま・大豆を使用した新名物「かつらおブチ煎」を買いました。3個セットだと可愛い巾着袋に入れてもらえます。



葛尾村は、素朴な印象の村ですが、ジワジワくる魅力がまだまだあります。(U)

【桜便り ~檜葉町上小埴宮前の桜並木~ (3月29日掲載 @檜葉町)】

3月に入り暖かい日が続いたせいか、双葉郡の桜も各地で咲き始めました。今回はその中から、県道35号線(いわき浪江線)の走行途中で見つけた檜葉町上小埴宮前地区の桜並木の写真をお届けします。場所は、木戸八幡神社の近くで、木戸川支流の金剛川沿いの桜並木です。



撮影したのは3月26日ですが、だいぶ咲き始めており、3月末・4月初めには満開を迎えそうです。この春も、宴会のような“お花見”はできませんが、是非、お近くの桜を静かに愛でて、明るい気持ちになってください。(U)



お知らせ

【イベント情報】

○「富岡町 桜まつり 2021」（主催：富岡町）以下、令和3年3月23日時点の情報です。

歩行者天国

日時：4月3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日）午前9時から午後3時まで

※10日、11日（日）については、桜の開花状況に応じて実施を検討

場所：旧富岡第二中学校前

ライトアップ

日時：4月2日（金）から11日（日）まで

場所：旧富岡第二中学校前、駅前西側遊歩道、基準木周辺、宝泉寺等

併せて、飲食を伴わない物販等を実施いたします。

詳しくは主催者にお問い合わせください。

富岡町産業振興課商工観光係

電話：0240-22-2111

「あなたとつながる、ふたば。」双葉郡フォトコンテスト

「今」部門最優秀賞：「満開」奥地 太郎 さんの作品（撮影場所：富岡町）

※ 写真はイメージです。

（来場の際は、マスク等の感染予防対策をお忘れなく！）



<双葉郡の町村内居住率>

双葉郡8町村がホームページや広報誌で公表している住民基本台帳人口、町村内居住者数に基づき算出しました。（新規転入者を含み、滞在者推計を除く。）復興状況を知る一つの目安としてご覧ください。（「町村内居住率＝町村内居住者数／住民基本台帳人口」）

	住基人口	居住者数	居住率
広野町	4,699	4,216	89.7%
楡葉町	6,761	4,038	59.7%
富岡町	12,319	1,576	12.8%
川内村	2,519	2,053	81.5%
大熊町	10,249	283	2.8%
双葉町	5,773	0	0.0%
浪江町	16,681	1,579	9.5%
葛尾村	1,376	431	31.3%
計	60,377	14,176	23.5%

双葉郡全体の町村内居住率

（令和3年1月末時点）

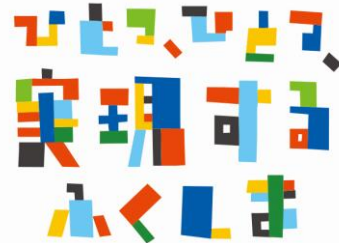
23.5%

↑

（令和2年11月末時点）

23.3%

<編集後記>



3月12日に発表された福島県の新スローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」双葉郡の復興に向けて、まさに大切なことですね。

☆ 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

☆ 是非、双葉郡内のイベント情報や、グルメ、観光、素敵な景観などおもしろ情報をお寄せください。

〒979-1111 福島県双葉郡富岡町小浜553-2 福島県富岡合同庁舎

福島県ふたば復興事務所

TEL：0240-23-6974 FAX：0240-25-8372

～ ホームページ、Facebookもやっています！ → 「ふたば復興事務所」で検索！！